



第3回

放置自転車対策・観光施策 に関する協議資料

平成26年9月9日（火）

18：00～20：00



改訂京都市自転車総合計画の見直し検討部会



本日の 協議内容

- ① 放置自転車対策について
 1. 対策の取り組みと成果
 2. 放置自転車の課題
 3. 今後の方向性

- ② 観光施策について
 1. 京都市の観光の実態
 2. 京都市の取り組み
 3. 今後の方向性

※参考資料

【別紙】

- 参考資料 1 : 市民アンケート集計結果
- 参考資料 2 : 都心部の駐輪場整備状況





① 放置自転車対策について





1. 対策の取り組みと成果





京都市における放置自転車対策の流れ



昭和60年 4月 「京都市自転車放置防止条例」の制定

内容: 放置自転車の撤去及び保管を開始
集客施設に対する駐輪場の附置義務の制定
(食料品を取り扱う小売店舗: 店舗面積400㎡以上)

平成12年 4月 「京都市自転車総合計画」の策定(前総合計画)

内容: 自転車利用環境の整備
(駐輪場の整備, 附置義務の強化, 自転車走行環境の整備, 都市型レンタサイクルの導入)
自転車利用マナー・ルールの確立

平成18年10月 都心部放置自転車対策アクションプログラムの策定

内容: 駐輪スペースの確保と駐輪マナーの向上
期間: 平成18年度～平成22年度(5年間)

平成22年 3月 「改訂京都市自転車総合計画」の策定

内容: 民間事業者等との連携による駐車場整備
指定管理者導入によるサービス向上
都市型レンタサイクルの導入促進
自転車通行環境
啓発活動の充実
撤去体制の強化, 撤去保管料の見直し
期間: 平成22年度～平成31年度(10年間)

駐輪場の整備の推進①



出町柳まちかど 駐輪場

- 供用年月
平成26年4月
- 収容台数
150台



七之舟入 自転車駐車場

- 供用年月
平成26年4月
- 収容台数
134台



駐輪場の整備の推進②

広場や公園などの地下空間を利用した駐輪場の整備

公園の地下に駐輪場を整備



京都市御射山自転車等駐車場

■ 供用年月
平成22年3月

■ 収容台数
自転車: 887台
原付: 121台



駐輪場内部

駅前広場等の地下に駐輪場を整備

- 収容台数
京都駅南口(3基)
約600台
京都市役所前広場(2基)
約400台



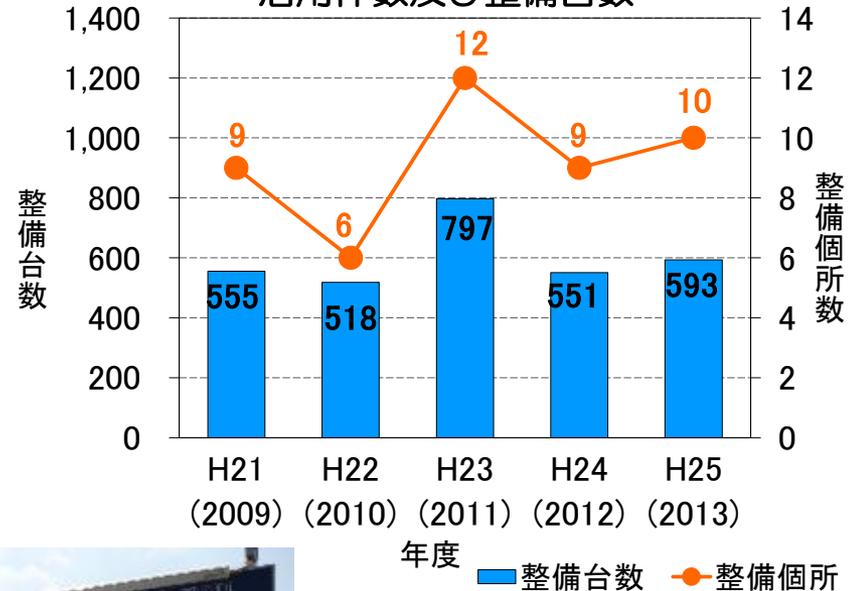
京都駅南口の駅前広場と京都市役所前広場に整備予定

民間自転車等駐車場整備助成金事業

整備費の3分の2以内、上限額400万円までを助成

- 1年間に概ね10箇所前後で活用され、500台以上の整備が行われている。
- 立地上の理由等により、公共の駐輪場を整備していくことが困難な地域において、民間活力による駐輪場整備を行う際に、設置費用などの助成を行っている。

民間自転車等駐車場整備助成金事業の活用件数及び整備台数



年度 ■ 整備台数 ● 整備箇所
 ※原動機付自転車、自動二輪車を含む



建物の1階を転用した事例

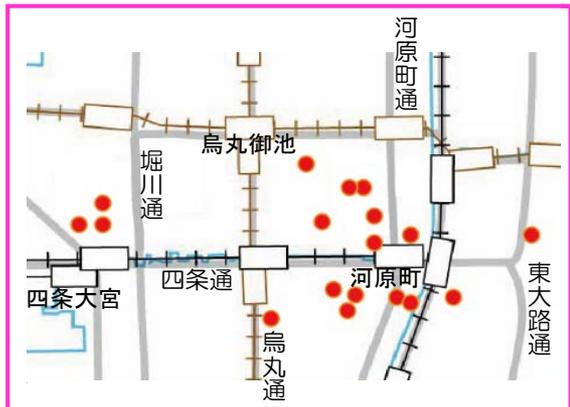


コインパーキングを転用した事例

これまでに助成金を活用して整備された駐輪場

都心部・四条大宮以外

都心部・四条大宮



●・・・整備箇所

京都市域で平成21～25年度までに整備された駐輪場の合計

46箇所
3,014台分



助成金を活用してできた駐輪場

都心部・四条大宮以外

フルーツ自転車パーク
丸太町駅駐輪場



都心部・四条大宮

T-park桜之町駐輪場

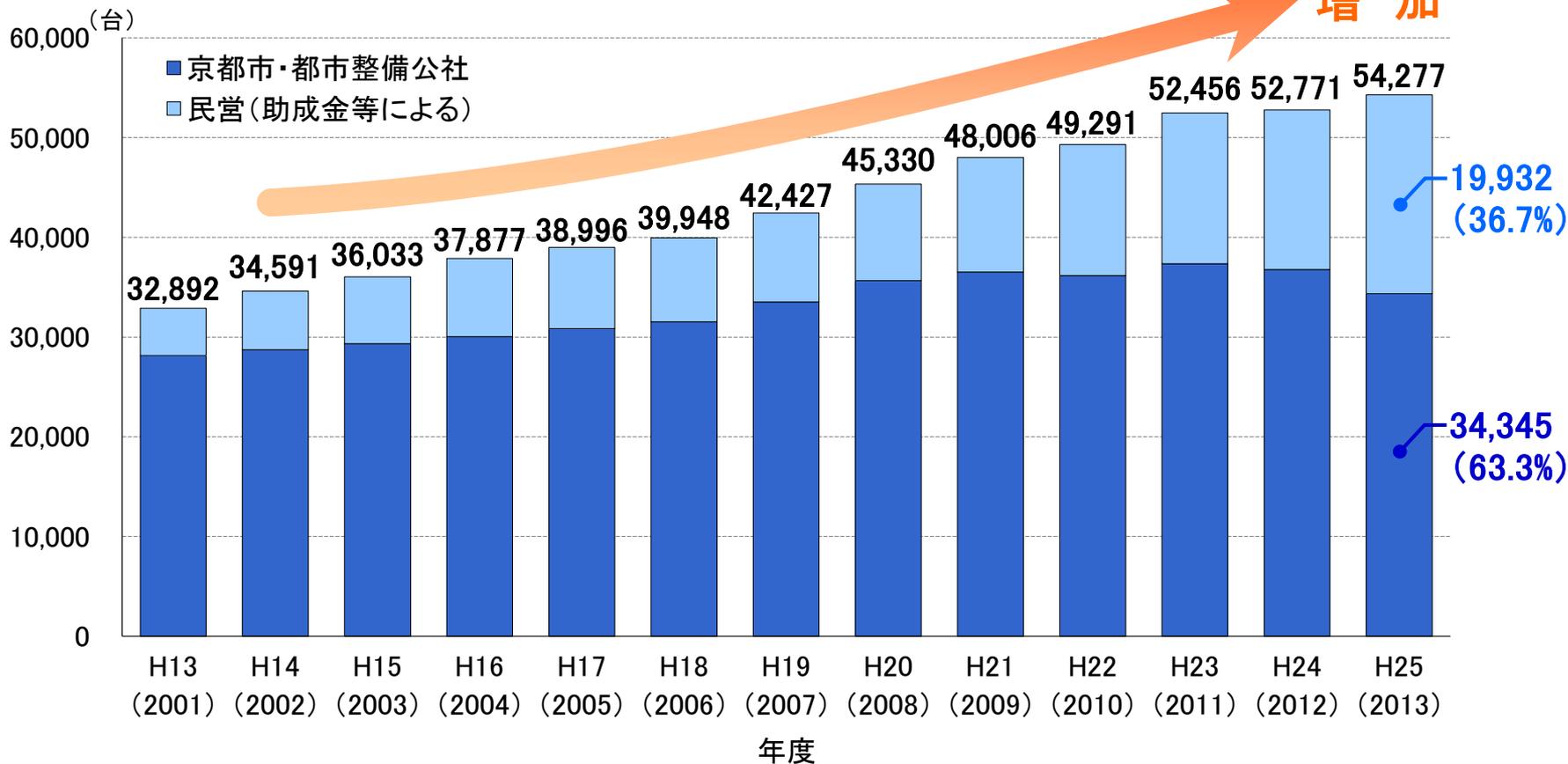




駐輪場整備台数の推移（京都市）

●駐輪場の整備により、収容可能台数は年々増加している。

京都市における駐輪場整備台数の推移





附置義務の対象となる建物

● 対象となる建物

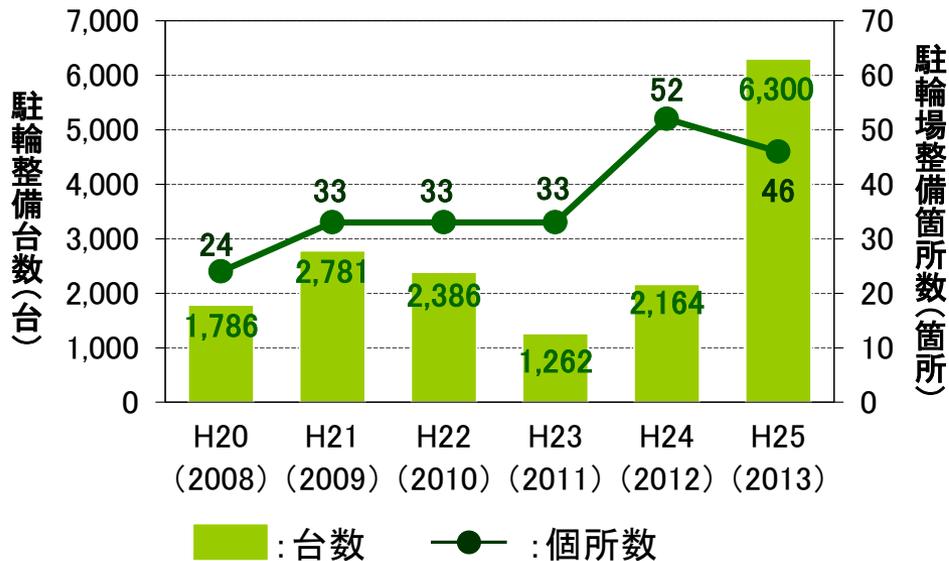
用途区分	施設面積	自転車駐車場の規模
博物館等(博物館, 美術館, 図書館)	1,050㎡以上	施設面積70㎡までごとに1台
映画館	450㎡以上	施設面積30㎡までごとに1台
カラオケボックス		
銀行(銀行, 信用金庫)	400㎡以上	施設面積25㎡までごとに1台
病院等(病院, 診療所, 歯科医院, 歯科診療所等)		
官公署		
食料品等の小売店舗	300㎡以上	施設面積20㎡までごとに1台
食料品を取り扱わない小売店舗		
飲食店		
学習施設(専門学校, 各種学校, 学習塾)		
コンビニエンスストア	150㎡以上	施設面積15㎡までごとに1台
遊技場(パチンコ店, ゲームセンター等)	250㎡以上	
スポーツ施設(フィットネスクラブ, 各種運動教室等)		
レンタルビデオ店	150㎡以上	施設面積10㎡までごとに1台
郵便局		



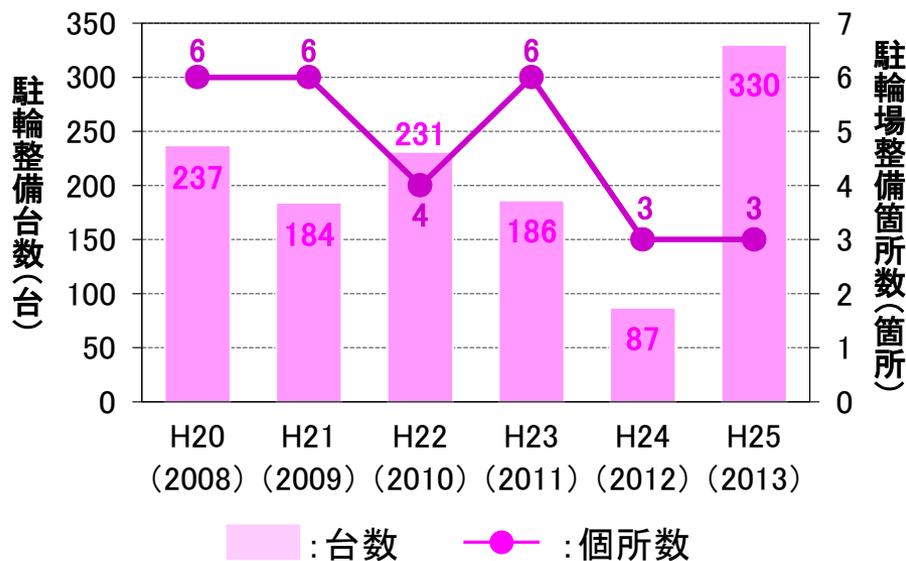
附置義務による駐輪場の整備状況

- 京都市内では、平成20年以降、221箇所で駐輪場の整備が行われている。
- 都心部では平成20年からの5年間で約1,000台分が整備させている。

附置義務駐輪場申請台数及び箇所数（京都市全域）



附置義務駐輪場申請台数及び箇所数（都心部）





撤去に関する主な取り組み

年月		取り組み内容
平成19年	9月	放置の多かった都心部の撤去を2倍程度に強化 土日撤去の開始(月1回程度)
	10月	夜間撤去の開始(月1~2回程度)
平成22年	4月	鴨川撤去の開始
	5月	土曜撤去通年実施
	9月	国道撤去の開始
平成23年	4月	保管所の日曜日・祝日開所
平成24年	4月	日曜祝日撤去の通年実施, 夜間撤去の強化
平成25年	4月	土曜夜間の撤去を開始, 夜9時以降の撤去を開始
	8月	軽トラックを活用した効率的な撤去を試行実施
平成26年	8月	軽トラックを活用した効率的な撤去を本格導入

「自転車の放置」 = 「撤去」の意識づけ

■撤去の強化 ～土日祝日，夜間撤去の推進～



土日祝日の撤去様子



夜間の撤去様子

- 自転車等駐車場の周辺でより重点的に撤去を実施
- 土日祝日・夜間の撤去を強化

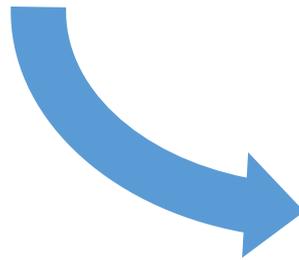
徹底した撤去活動の実施により「放置すれば撤去される」市民意識を醸成



放置自転車の改善例



改善前

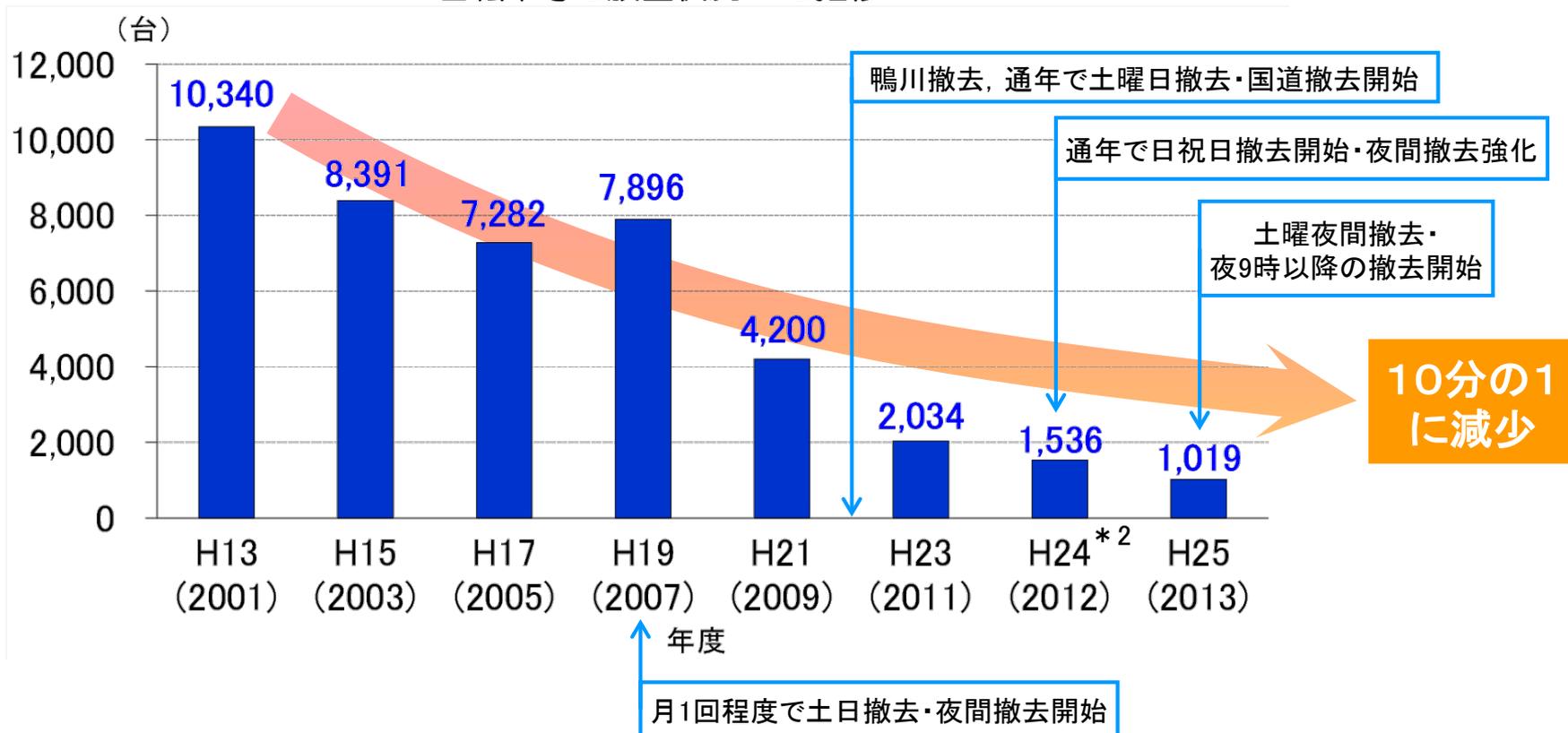


改善後

放置自転車台数は10分の1に減少

●約10年間に、放置自転車台数は10分の1に減少している。

自転車等の放置状況*1の推移



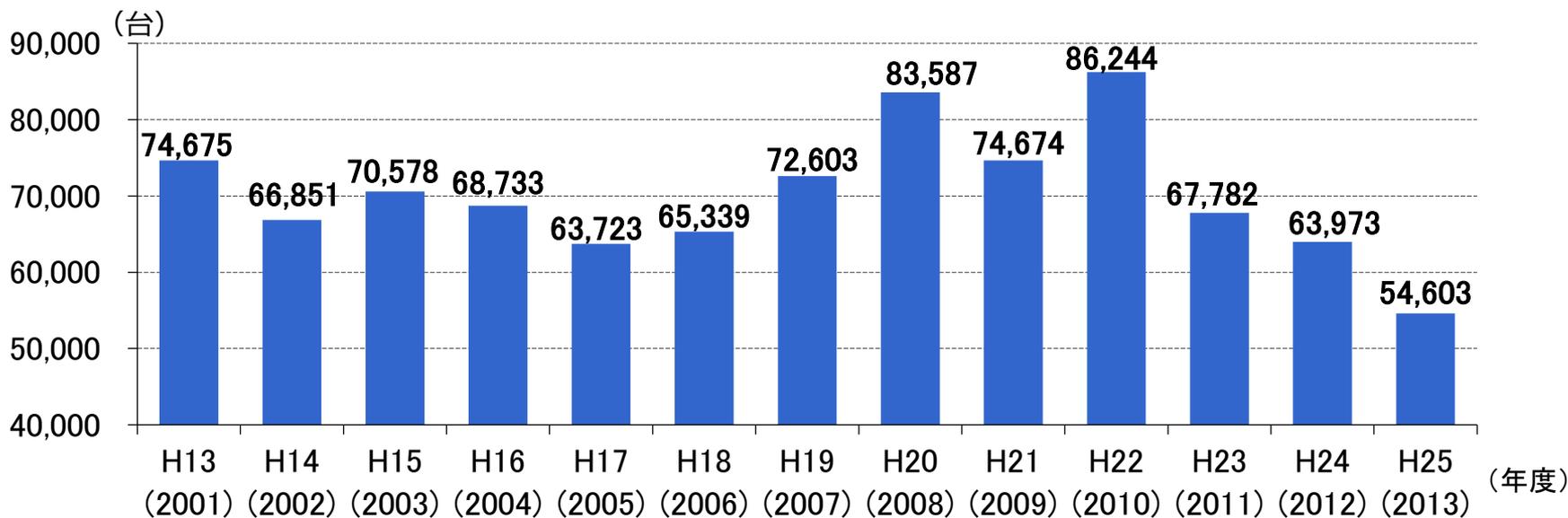
*1: 10~11月の晴天の平日、概ね午前11時時点において、市内各駅のうち1駅における放置台数が100台以上の駅を集計対象に放置台数を集計した値

*2: 内閣府は本調査を隔年で実施しており、平成24年度は本市独自で調査を実施

放置自転車の減少とともに撤去台数も減少

- 毎年概ね7万台前後を撤去している。
- 平成20年度から撤去を強化し、平成23年度以降、放置自転車台数の減少とともに、撤去台数も減少している。

年度別放置自転車撤去台数



土日撤去・夜間撤去開始(月1回程度)

鴨川撤去・国道撤去・土曜撤去通年で開始

土曜夜間撤去・21時以降撤去開始



2. 放置自転車の課題





放置自転車に対する市民の意識

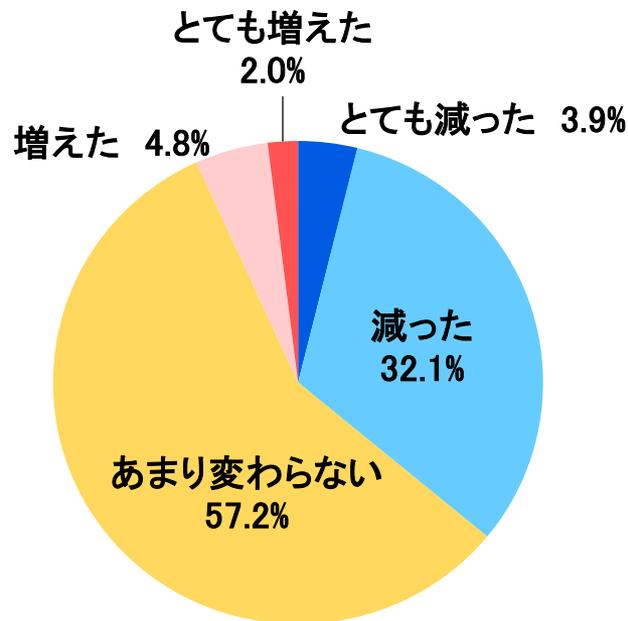
- 放置自転車台数は、平成13年と比べると約10分の1に減少し、平成21年と比べても約4分の1に減少している。



- 「減った」と回答した方は約3割に止まり、「あまり変わらない」が約6割であり、市民の方の実感とは差がある。

京都市民アンケート（2014年7月実施）

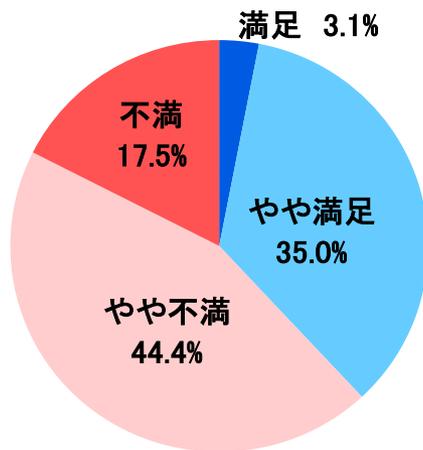
Q. ここ数年、放置自転車が減ったと感じますか。
（ひとつのみ回答 回答数=1,000人）



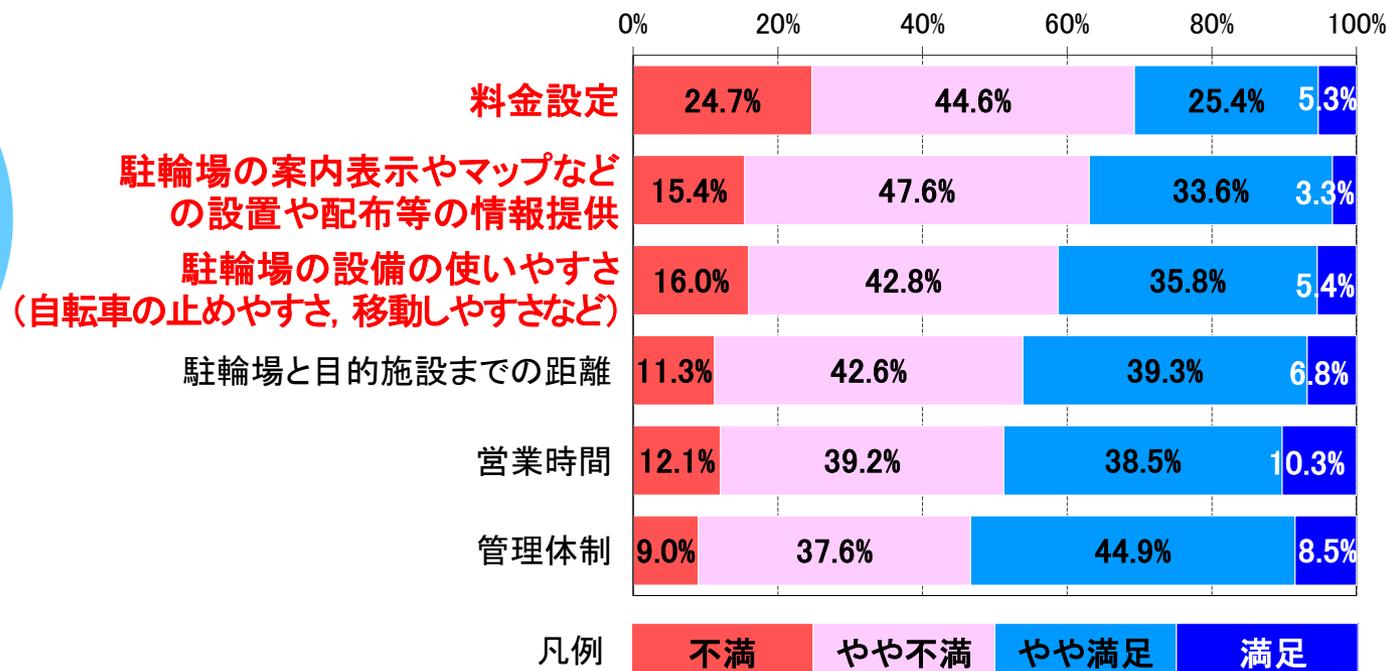
駐輪場に対する市民の意識

- 駐輪場の整備については、約6割の方が「不満」「やや不満」と回答。
- 「不満」で最も高かったのが、料金設定の24.7%で、ついで設備の使いやすさ、駐輪場の場所の案内表示やマップなどの設置や配布などの情報提供であった。

Q. 駐輪場の整備について、満足していますか。
(単回答, 回答者数=720人)



Q. 現状の駐輪場について、どのようなところが満足(不満)と感じていますか。
(各単回答, 回答者数=720人)

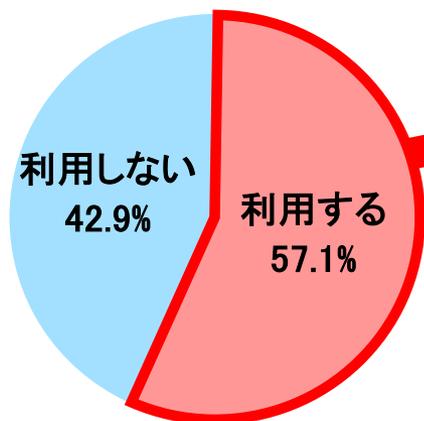




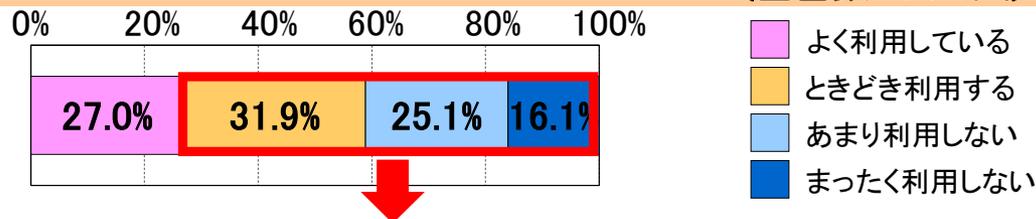
駐輪に関する市民の意識①

駅(鉄道)を利用するときの駐輪場の利用状況

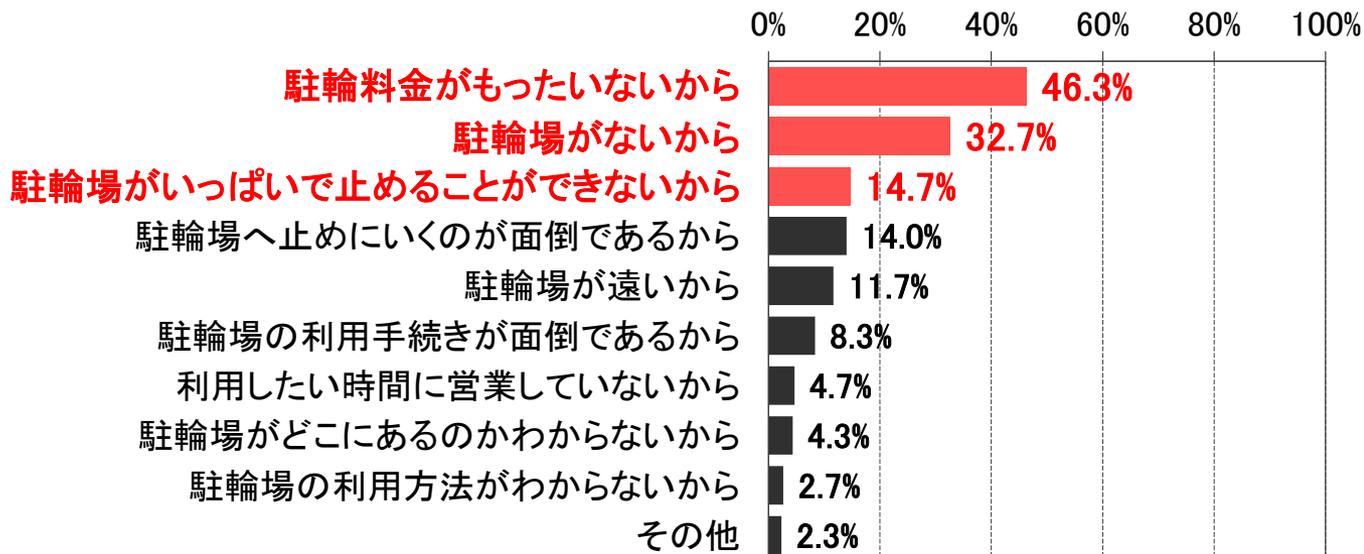
駅(鉄道)利用時の自転車の利用状況
(回答数=720人)



駅(鉄道)利用時に自転車を利用する人の駐輪場の利用状況
(回答数=411人)



駅(鉄道)を利用する際、駐輪場を利用しない場合の理由
(回答数=300人)

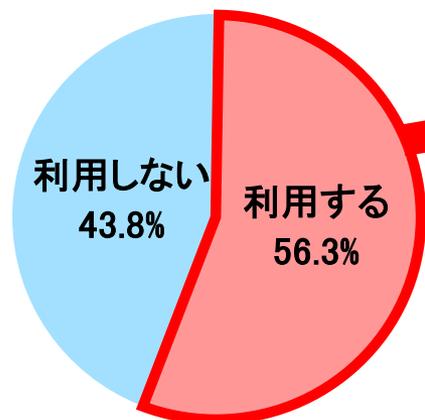


- 約6割の方が鉄道を利用する際にも自転車を利用している。
- 駐輪料金が高すぎるが約半数で、次いで駐輪場がないが約3割であった。

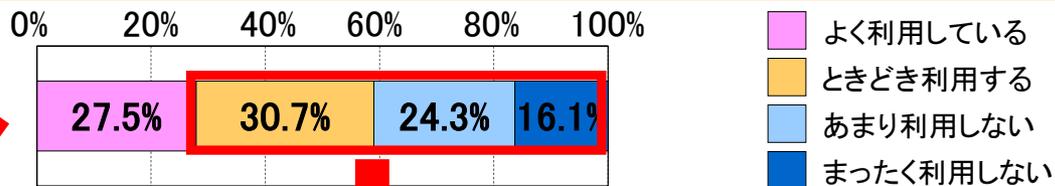
駐輪に関する市民の意識②

繁華街を利用するときの自転車の利用状況

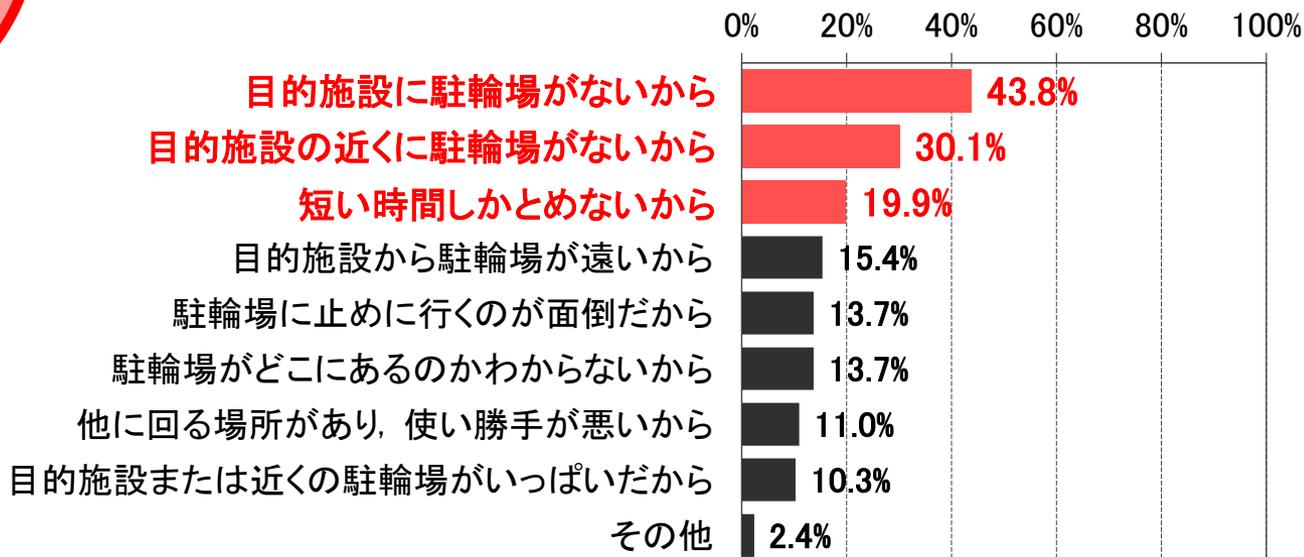
繁華街へ出かける時の自転車の利用状況
(回答数=720人)



繁華街へ出かける時に自転車を利用する人の駐輪場の利用状況
(回答数=405人)



繁華街にでかける際、駐輪場を利用しない場合の理由
(回答数=292人)

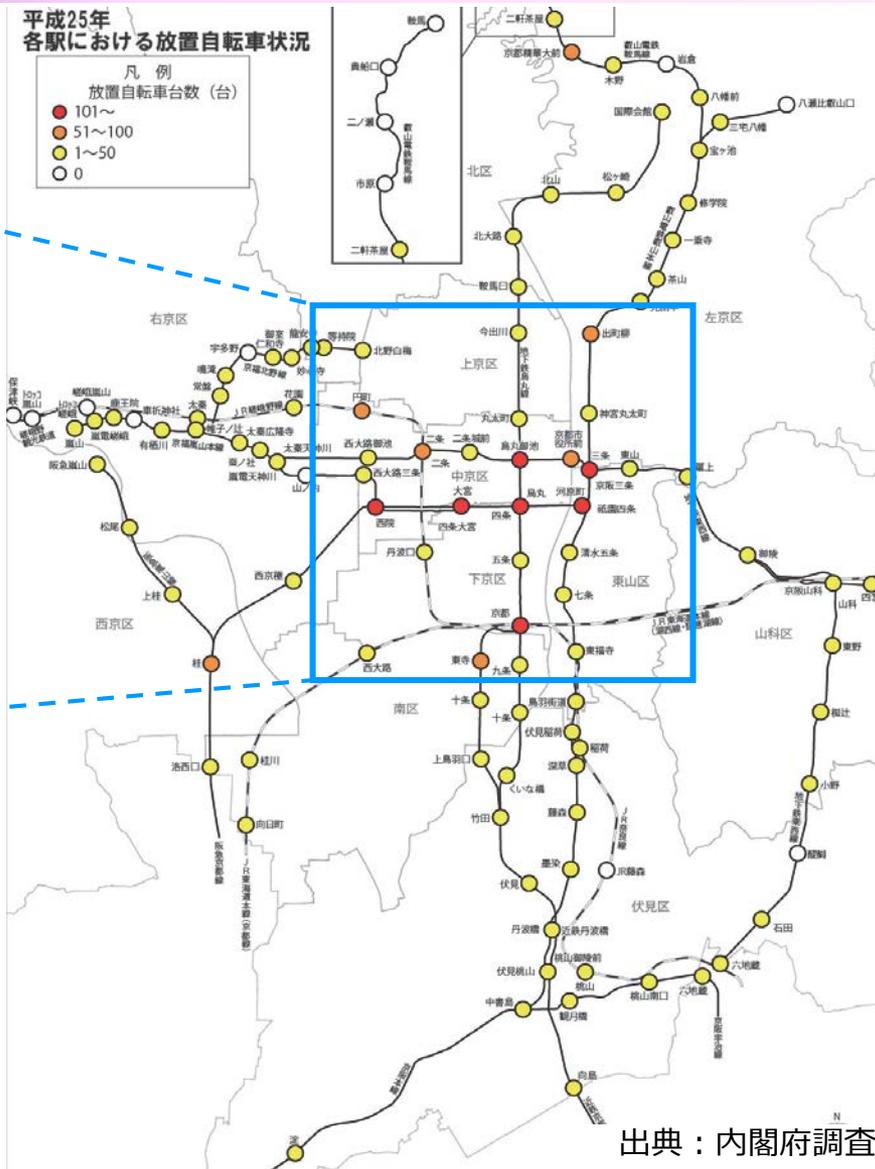


- 約5割強の方が繁華街へ出かける際に自転車を利用している。
- 目的施設およびその近くに駐輪場がないが約4割と3割が多かった。

都心部の駅で放置自転車がが多い

● 都心部の駅で放置自転車がが多い。

平成25年
各駅における放置自転車状況



阪急西院駅

依然として短時間の放置自転車が多い



これまでの取り組み成果：撤去の強化や駐輪場の整備等で**大幅に減少** ↓

現状としては・・・

◎コンビニ・物販店周辺などでは**依然として短時間の放置自転車が多い。**

◎地域によってはまだ放置自転車が多いところもある。(阪急西院駅等)



物販店周辺



書店周辺



飲食店周辺



阪急西院駅

◎市民アンケート結果では、放置自転車が減ったとの回答は約3割に留まっている。

附置義務駐輪場が有効利用されていない

屋上に設置された駐輪場



- 附置義務に従って駐輪場を整備してもその場所がわかりにくく、あまり利用されていない。
 - 駐輪場の設置場所が、わかりにくい場合がある(屋上など)
 - 来店客以外の駐輪場の利用を避けるため、積極的なPRはあまりしていない
- 附置義務条例ができる前の建物(既存不適格)は、条例の対象外のため、駐輪場が整備されていない場合が多い。
- 市民アンケート結果によれば、駐輪場の案内表示やマップなどの設置や配布などの情報提供の不满が多い。



3. 今後の方向性



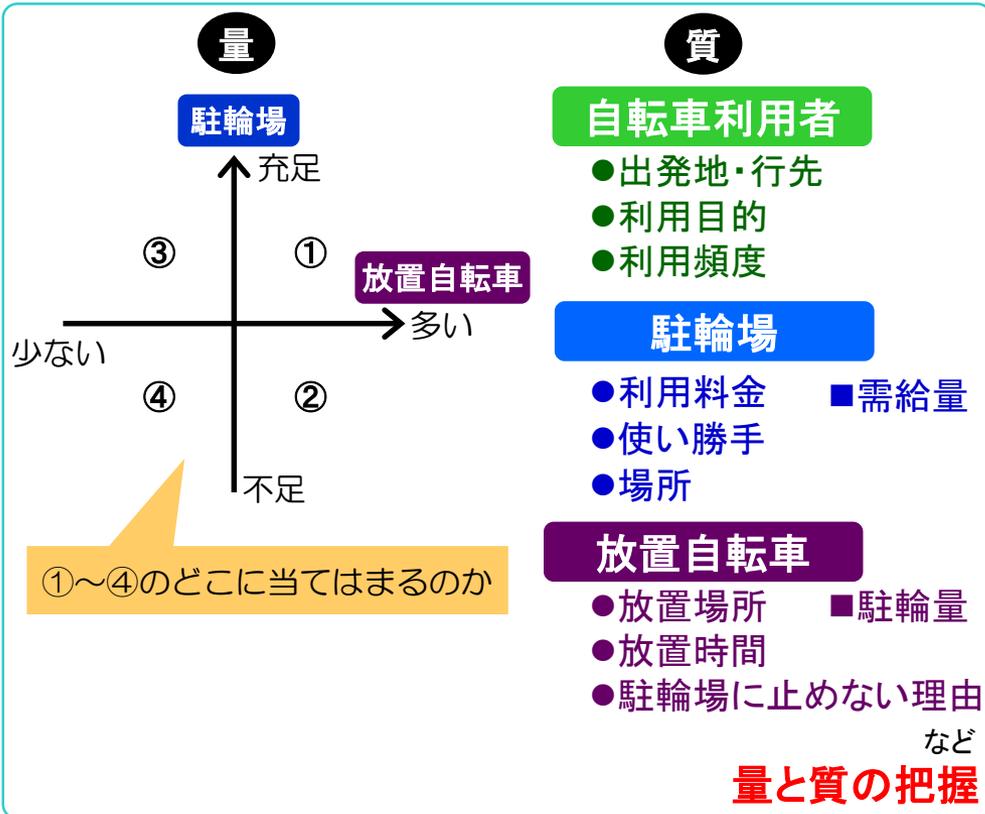


駐輪場の量の確保と質の向上

きめ細やかな放置自転車対策の推進 ⇒ **量の確保と質の向上**

目的の施設・エリア

➔ **利用状況・実態の把握が必要**



+

対応策

量

駐輪場の整備

駐輪場の整備

- 新たな駐輪場整備の必要性の有無

附置義務による整備

- 施設等の駐輪スペースの適正な運用・設置
- 将来、附置義務による整備の可能な有無

など

駐輪場の利用促進

既存の駐輪場の活用

駐輪場の改善

- 使いやすさや料金の見直し, 改善

情報の発信

- 駐輪場の案内標示の設置・マップの配布

利用マナー・ルールの啓発

- 地域や施設管理者や商店と協力

放置自転車の撤去

- 短時間の放置自転車への対応

など

質

駅・繁華街など、各場所の特性に応じて対応策を実施

量と質の向上



駐輪場の量の確保と質の向上

自転車と自転車利用者の多様化への対応

自転車の種類の多様化

三輪車, 配達用自転車, タンデム自転車 など



利用目的の多様化

物流の輸送・配送の利用, など

駐輪場
質の向上

スペース

新しいタイプの自転車の駐輪スペース

料金

短時間駐輪, 通勤・通学利用者

設置位置

駅や繁華街以外での設置

利用状況や特性に応じた柔軟な対策により駐輪場の利用を促進を図る

自転車の総量を減らす視点も必要

- 駐輪場の整備などの対策だけでなく、地域の状況・特性を把握し、他交通や徒歩への転換を促していくことも必要

地域の特性に合わせた自転車総量のコントロール

駐輪場の確保
が難しい

新たに整備するスペースがない
資金的に難しい など

目的の施設や
エリアが徒歩圏

自転車でもなくても徒歩で可能
など

徒歩や他の交通機関へ転換

- バスや鉄道を利用した場合の目的地への行き方や利用料金, 時刻表などの交通情報の提供 など

他の交通機関との連携を図りつつ、より良い環境の構築を図る



②観光施策について





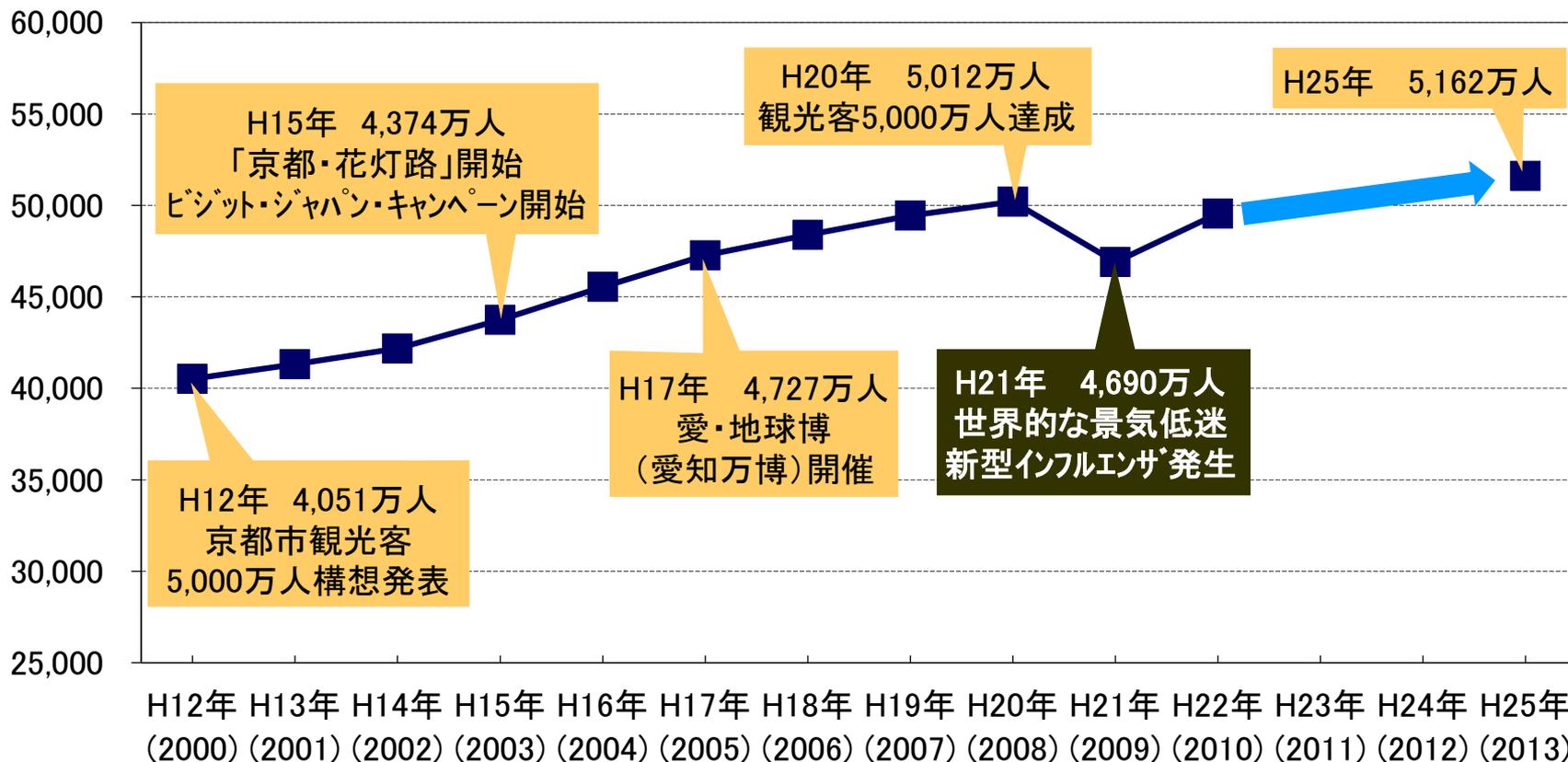
1. 京都市の観光の実態





京都市を訪れる観光客は年間5,000万人

- 平成20年(2008年)に観光客5,000万人を達成。
- 平成25年(2013年)には**史上最高の5,162万人**を達成した。

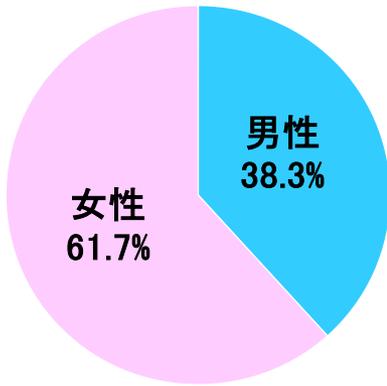


(※H23及びH24は調査方法の変更により観光客数を推計していない)

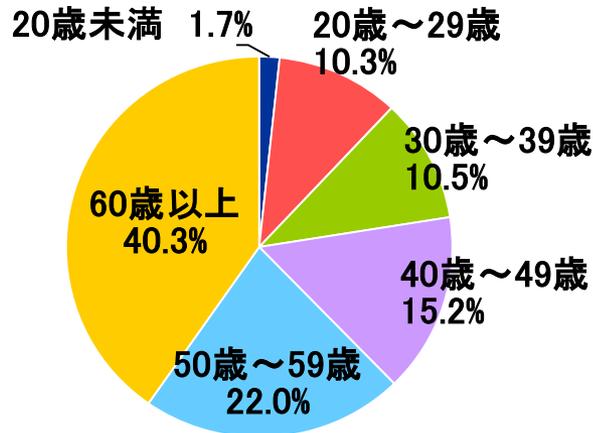


京都市を訪れる観光客の特徴

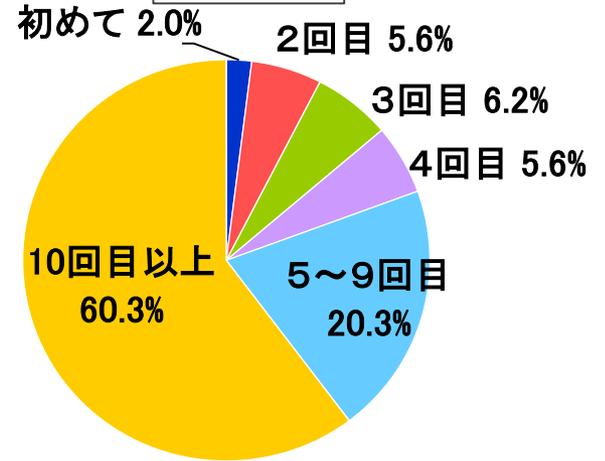
性別



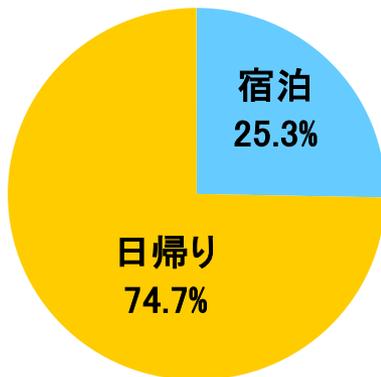
年齢



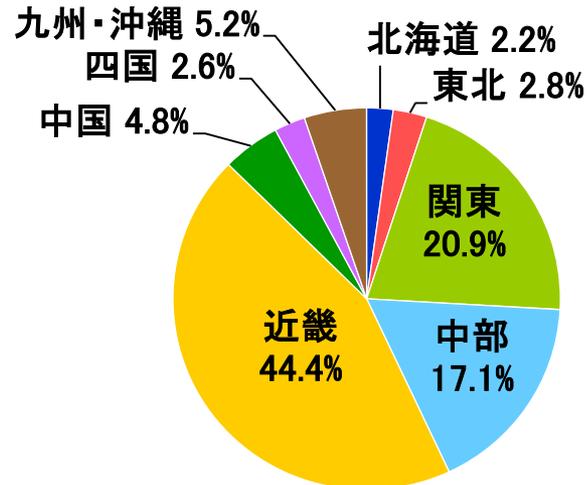
訪問回数



日帰り・宿泊



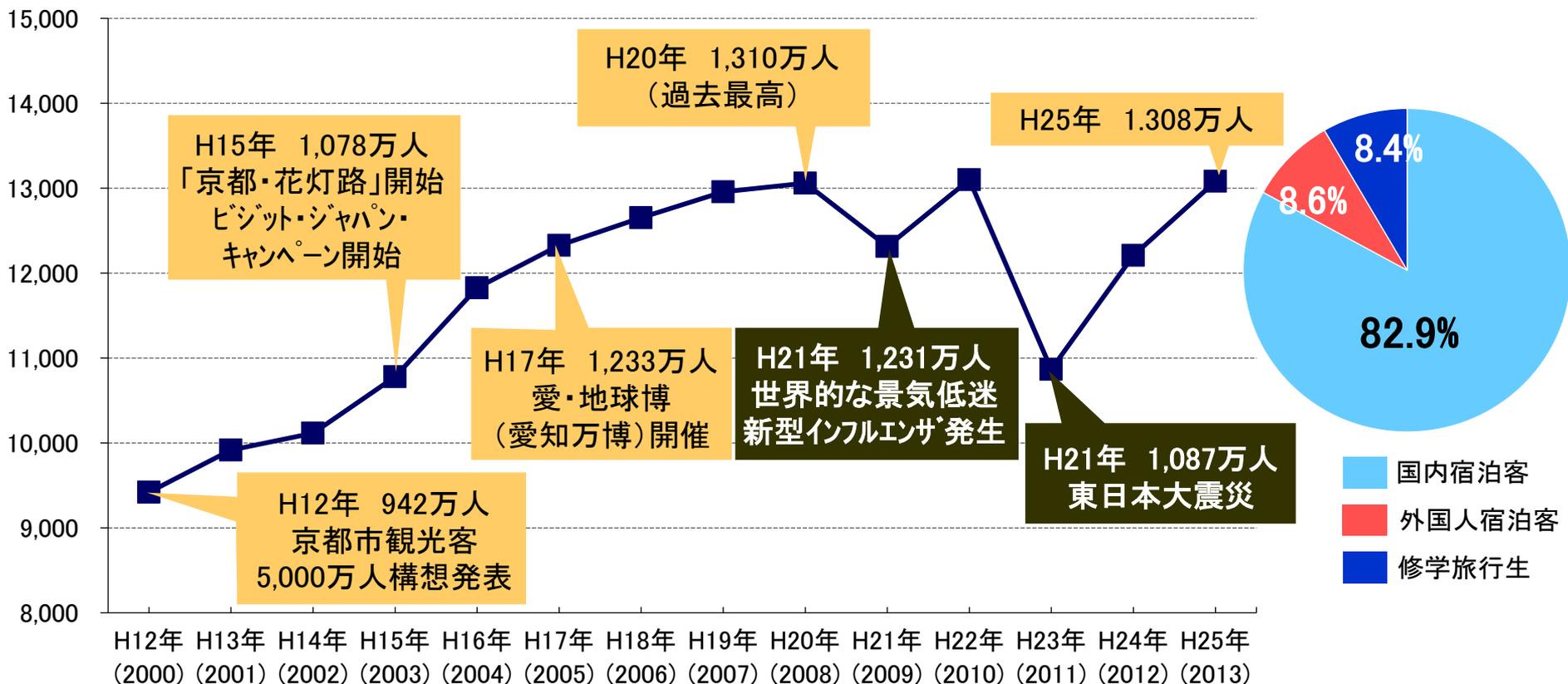
出発地





宿泊客の約8割は国内

- 京都市に宿泊した観光客は、平成23年(2011年)の東日本大震災の影響で一時的に落ち込んだものの、その後回復をしている。内訳としては国内宿泊客が8割を占めている。

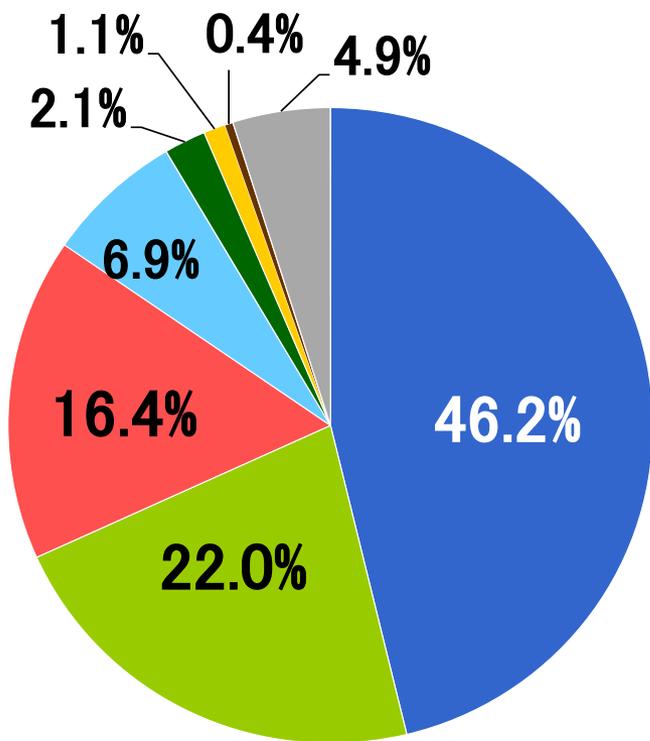




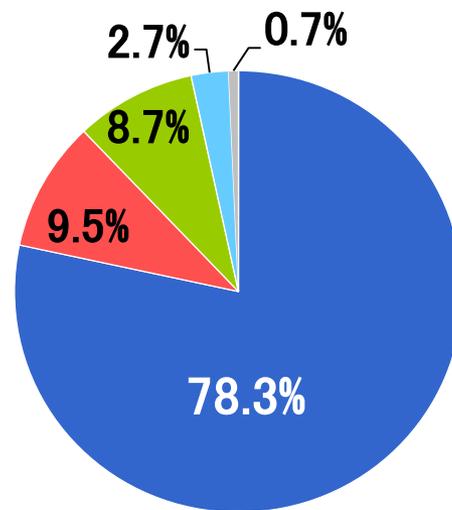
京都市の宿泊外国人はヨーロッパや北米が多い

- 外国人観光客の出発地をみると、日本全体では8割近くがアジアからの観光客であるのに対し、ヨーロッパや北米(合わせて4割)の割合が多くなる。

京都市宿泊外国人割合



訪日外国人割合





観光客が感動した点，残念に思った点

個別感動度(日本人)	割合
寺院・神社，名所・旧跡	30.1%



個別感動度(外国人観光客)	割合
京都人のおもてなし	17.9%



個別残念度(日本人)	割合
電車・バスなどの公共交通機関	13.2%
人が多い・混雑	12.9%



個別残念度(外国人観光客)	割合
言語，案内，標識	13.7%
物価	11.2%





2.京都市の取り組み





観光を取り巻く情勢

平成12年

「京都市観光客5,000万人構想」を発表

平成20年

観光客5,000万人を達成

平成22年

「未来・京都観光振興計画 2010+5」の策定(期間:2010~2014年)

平成25年

観光客数, 外国人宿泊客数, 観光消費額で過去最高を記録

平成26年

「トラベル・アンド・レジャー」誌の読者投票で「ワールドベストシティ」ランキングで, 最も魅力的な観光都市として京都市が1位に選出

平成26年

「京都みらい観光振興計画(案)」の策定(期間:2014年10月~2020年)

今後も観光客の増加が見込まれる

平成31年

「ラグビーワールドカップ2019」の開催

平成32年

東京オリンピック・パラリンピックの開催

平成33年

「関西ワールドマスタースゲームズ2021」の開催



京都みらい観光振興計画（案）

◆計画期間

2014年（平成26年）10月～2020年（平成32年）度末

◆目指す姿

世界があこがれる観光都市を目指す

◆2020年の4つの観光都市像

- (1) 多様な景観資産，自然景観と文化遺産を守り，育て，創造的に活用を進めるまち
- (2) 旅と暮らしの安心・安全が世界一しっかりと守られているまち
- (3) ひとと公共交通を優先する，歩いて楽しいまち
- (4) 市民ぐるみで観光客の皆様をあたたくお迎えする，おもてなしのまち

◆計画目標

- この計画を通じて，世界中の人に京都に行きたいという「あこがれ」をもっていただく目標として，京都を再び訪れたいという「**再来訪意向**」，親しい友人に京都観光を勧めたいと思う「**紹介意向**」**100%**を目指します。
- 丹精込めた「おもてなし」により，京都を訪れた方々に，多くの感動を届ける目標として「京都人のおもてなし」への**個別感動度100%**を目指します。
- 世界があこがれる観光都市として，**外国人宿泊客数年間300万人**を目指します。
- 安定した雇用の創出など観光による経済効果を最大限に高め，京都市域全体に還元し，市民生活の向上に寄与する目標として，観光に関連する**京都の観光消費額**，**年間1兆円**を目指します。



3. 今後の方向性



受入環境の整備

おもてなしの心で **だれもが楽しんで自転車を利用してもらう環境をつくる必要がある**

安全・安心に走行してもらうには **観光客の誰にでもわかりやすく、守ってもらう走行環境をつくる必要がある**



金沢市

ピクトグラムの設置

自転車レーンの整備

+

情報提供 等

- 事故の多い交差点部や単路部，細街路でのピクトグラムでの走行空間の区分や誘導・注意などの明示，サインの設置
- 自転車専用通行帯（自転車レーン）の整備

走行環境の整備等のハード面だけでなく，**観光客向けの自転車利用の案内やマップ，注意事項や傷害保険などの情報の提供も必要**

国外の自転車レーン及び誘導事例





国内の誘導事例（ピクトグラム）

金沢市



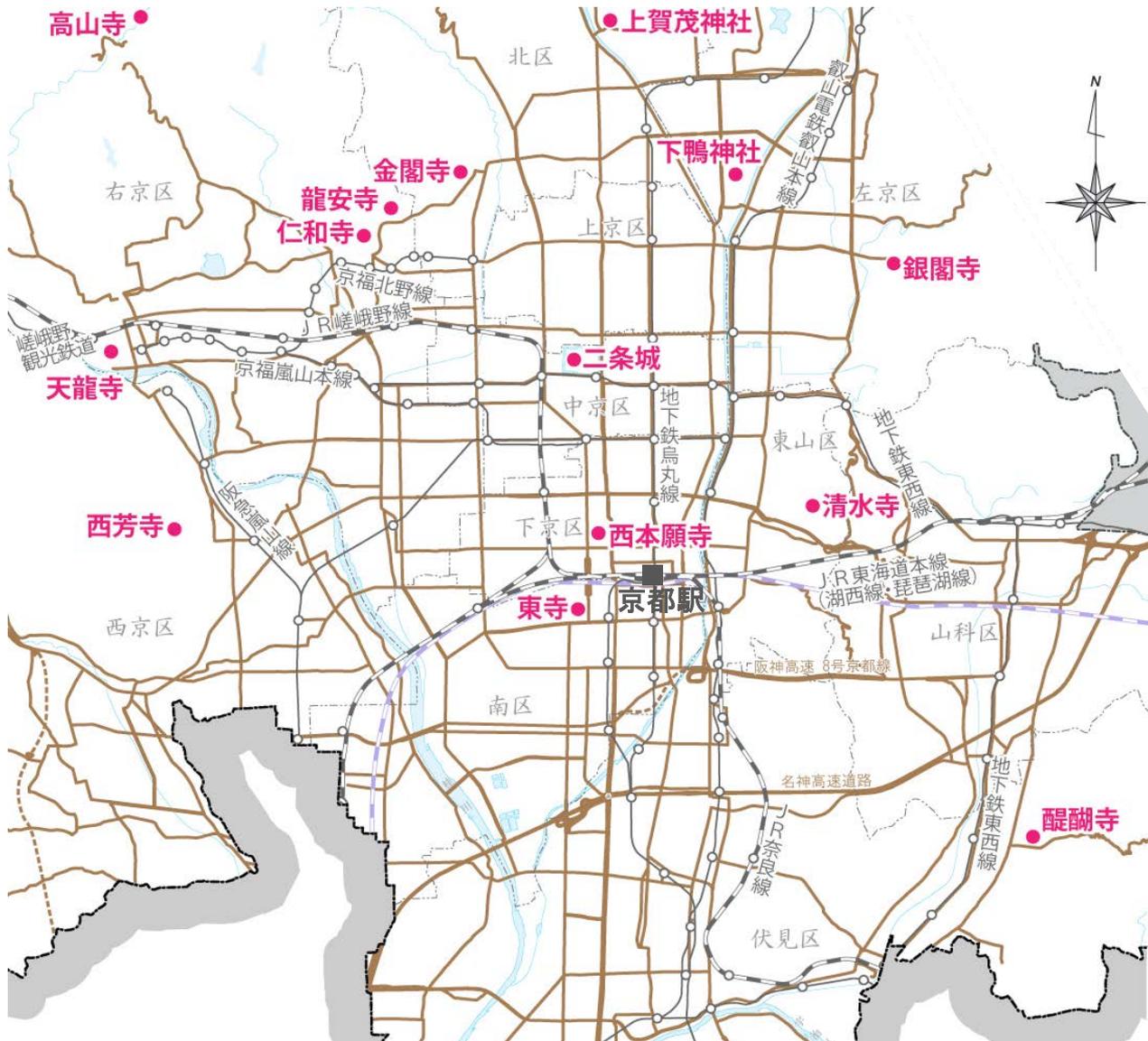
福岡市



大阪市

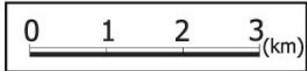


京都市内にある世界文化遺産



凡例

●: 世界文化遺産





自転車観光に関する情報発信

自転車観光を
知る

観光に自転車を
使う

自転車観光に
行く

京都よくばい！自転車観光ナビ

Language: 日本語

お知らせ サイトについて
サイトマップ

自転車でみつける、
わたしだけの京都。

YouTube PV
自転車でみつける、
わたしだけの京都。

お知らせ

2014/4/30
平成26年6月1日に「自転車マナー
アップフェスタin京都」を開催しま
す。

2013/12/25
平成26年1月25日 第2回自転車安
全利用講習会を開催します。

自転車観光を
知る

観光に自転車を
使う

京都ならではの
自転車観光の魅力を紹介します！

京都の街と自転車の相性は抜群

自転車観光が おすすぬ理由

京都は自転車観光に打ってつけの土地条件を持っている
ことをご存知ですか？おすすぬ理由を3つにまと
めて紹介します。

自分に合った自転車
スタイルを見つけよう！

自転車選びが観光を
楽しむための第一歩！

● シティサイクル

タイプ別
自転車
紹介



観光レンタサイクルの状況

京都サイクリングツアープロジェクト
レンタサイクルえむじか等



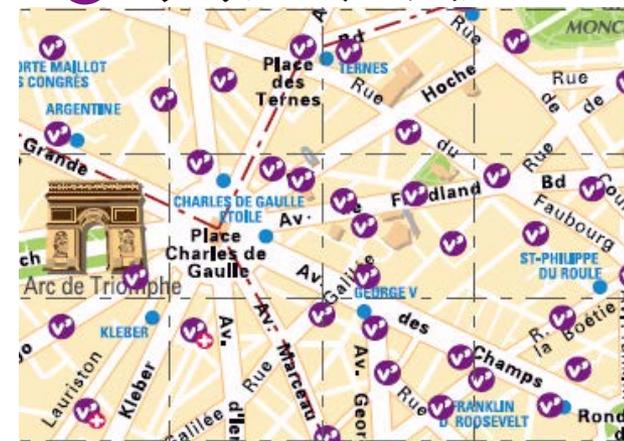
出典：京都よくばり自転車観光ナビHPより
京都市産業観光局観光MICE推進室

海外事例（レンタサイクル）

○パリ市・・・コミュニティサイクル ヴェリブ Velib'



V...ヴェリブ スターション



2007年開始

貸出と返却を行うポートが約1750ヶ所, 23,600台

およそ300m間隔で設置

1日10~15万台稼働

▶ 市民や観光客に
非常によく利用されている

京都市とパリとの比較と課題

京都とパリ（フランス）との自転車保有と利用分担率の比較

	京都府(2013年)	フランス(2000年)
保有台数 (台/100人)	65	39
	京都市(2010年)	パリ(2003年)
自転車利用分担率	21.4	4.5

- 京都市は、自転車の保有率、利用率が高い
- 来街者(観光客・ビジネス客等)は、利用客となり得るが、住民の利用は期待できない
- 走行環境も未整備
- 既存のレンタルサイクルも多い

- パリは自転車の保有率、利用率ともに低い状況でコミュニティサイクルを導入
- 来街者(観光客・ビジネス客等)に加えて住民も利用
- 走行環境の整備も同時に実施

導入には十分な検討が必要

観光における自転車の利用事例 (コペンハーゲン・アムステルダム)

アムステルダム (イエローバイク)

- 自転車の貸し出し、市内や周辺の観光場所を巡るツアーを実施。



出典：Yellow Bike THE AMSTERDAM RIDEのHPより

コペンハーゲン

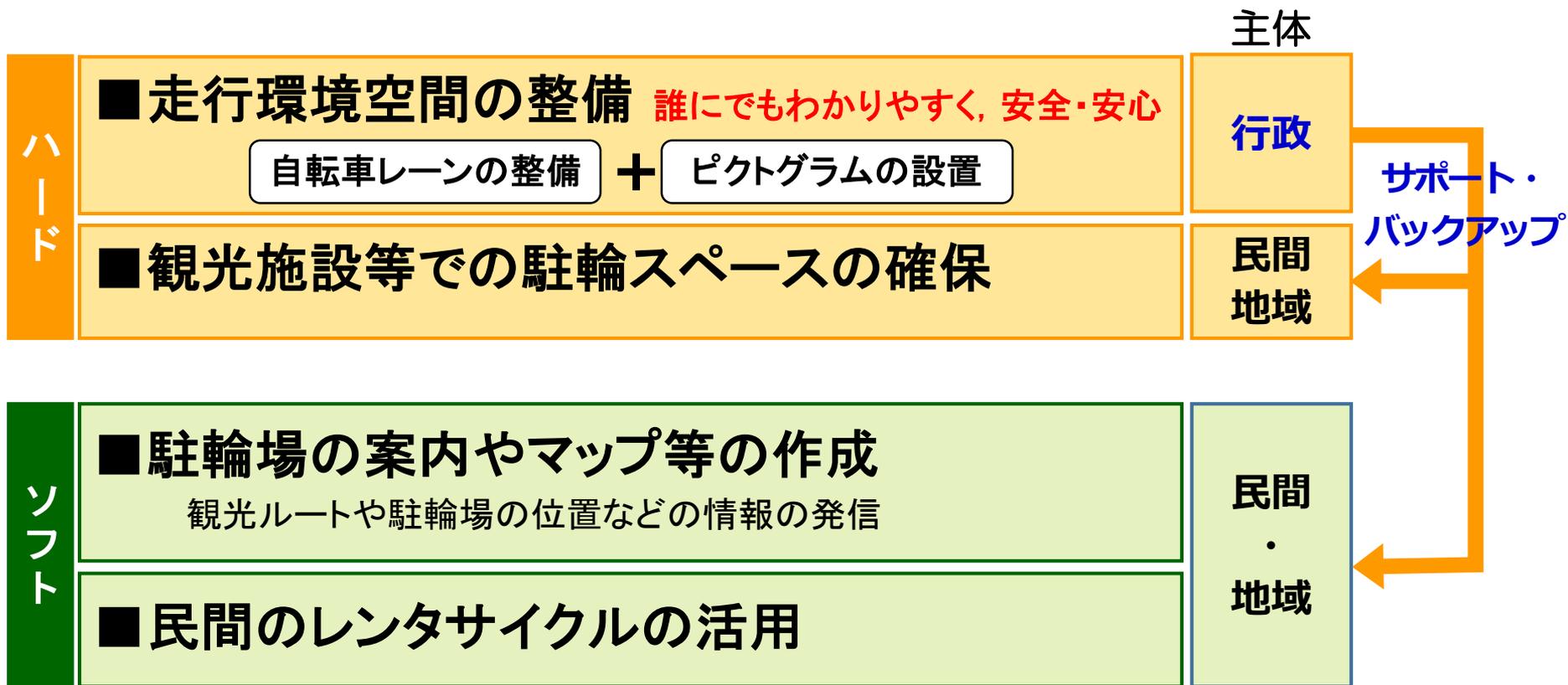
- 市内の旧市街地を中心とした20km²がシティバイクの走行範囲区域とし、110カ所にラックを設置。利用の約9割が観光目的となっている。
- 2012年末に、市民や観光客にとって、より便利で利用しやすいものとするため、タブレットPC付き自転車を導入した新しいレンタル自転車システムを開始
- 今後も拡大予定とし、順次、電気自動車の導入も予定



出典：Japan Local Government CentreのHPより



観光における自転車の利用促進の方向性





參考資料





第1回京都市自転車等駐車対策協議会の意見

■開催日時：平成26年7月29日（火） 10時～

協議会での委員意見のまとめ

第1回協議会要旨

- 自転車対策から自転車政策への前進
⇒ 次の世代に借金を残さない徹底したマナーの向上と効果的な投資
- 3つのE【Education(教育), Engineering(技術), Enforcement(取締り)】の効果的な組み合わせの模索

放置自転車対策・観光施策に関する意見

- 機械式駐輪場の不正利用の是正
- 正しい利用を促すための駐輪場料金の安価化
- 駐輪場の効果的な案内
- 駐輪場の学割
- 外国人観光客のレンタサイクル利用時のルール・マナーの徹底
- コミュニティサイクルへの補助金制度
- 京都市がレンタサイクルまたはコミュニティサイクルのどちらを軸とするかの入念な検討